

～ “みち” をきっかけとした『住んでよし、訪れてよし』の元気なまちづくり～

# 南区シーニックバイウェイ検討協議会 報告書（概要版）

## 【目次】

1．南区シーニックバイウェイ検討協議会設立の背景と目的	1
2．検討協議会の参加団体	3
3．「シーニックバイウェイ北海道」について	4
4．南区の概要	6
5．これまでの検討経過	7
6．南区の資源と取り組み	8
7．今後の活動目標と取り組みの方向性	14
8．ルート運営代表者会議の組織体制（案）	27
9．取り組みのキーワード	28

平成20年6月

この報告書は、第1～7回の検討協議会の会議結果をまとめた資料であり、今後のルート運営代表者会議における活動計画書づくりの指針となるものです。



# 1 . 南区シーニックバイウェイ検討協議会設立の背景と目的

## 設立趣意書

南区は札幌市の面積の60%を占め、美しい自然景観と豊富な観光資源に恵まれており、多くの市民や観光客が訪れる地域である。地域課題としては、高齢化と人口減少に直面していることが挙げられ、将来的には地域の活力低下が懸念されている。

全国的にも少子高齢化や人口減少への対応が課題とされており、今日の地方分権の進展ともあいまって、住民や自治体の創意と工夫による地域活性化の取り組みが求められている。このようなことを背景に、全国各地では、「地域の魅力づくり」をキーワードに、他地域と差別化を図る取り組みが広がりつつあるところである。

南区においても、地域の活力を維持するため、地域の魅力(ブランド)を確立し、イメージアップを図るとともに、南区の魅力を広くアピールしていきたいと考える。そのためには、区内に存在する多様な地域資源を掘り起こし、これに磨きをかけていく必要がある。そして、住民にとっては心地よい生活空間を、来訪者にとっては新鮮で刺激に満ちた観光空間を創造したい。我々が目指すのは、来訪者だけを意識した観光地づくりではなく、生活者である住民の視点を大切にしまちづくりであり、その結果、来訪者からも愛されるまちづくりである。

また、すでに人口減少に直面している南区では、単に来訪者を増やすだけではなく、滞在や定住につなげる工夫が必要である。魅力ある地域資源を点から線へ、線から面へとつなぎ、来訪者に区内を回遊してもらうとともに、地域の魅力を感じてもらう仕掛けづくりを検討していきたいと考える。さらには、広域連携という視点から、近隣市町村との協力体制の構築を図る必要もある。

このような中、国土交通省では、地域固有の資源を生かし、「美しい景観づくり」、「活力ある地域づくり」、「魅力ある観光空間づくり」を図るというシーニックバイウェイ制度を提唱している。景観資源や観光資源に恵まれた南区においては、シーニックバイウェイ制度を活用することが地域の魅力づくりにつながるものと考えられる。また、地域の魅力づくりは多面的、かつ、総合的なものであり、官民一体となった取り組みが求められる。このため、地域・企業・大学・行政が連携のうえ、シーニックバイウェイ制度を活用したまちづくりの方向性を議論するとともに、今後の推進体制を検討することを目的に、「札幌市南区シーニックバイウェイ検討協議会」を設立する。

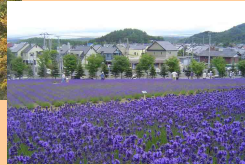


# 南区

- ・自然景観
- ・街並み



定山溪の溪谷



南沢ラベンダー



- ・各種イベント



PMF



八剣山地域のイベント

- ・農産物
- ・特産品



藤野の直売所



南沢蜂蜜

- ・集客施設
- ・店舗



定山溪温泉



滝野すずらん  
丘陵公園

区内を巡り、地域の魅力を感じてもらう

< 区民 >

南区に住んでいてよかった！

これからも住み続けたい！

< 来訪者 >

また訪れたい！

住んでみたい！

住民の地域への誇りを醸成

地域活性化、観光振興

## 2 . 検討協議会の参加団体

南区シーニックバイウェイ検討協議会の参加団体は、南区の地域組織や商店街、大学、集客施設、その他各種団体など、計38の団体により構成されています。

	団 体 名			団 体 名	
地 域 組 織	1	真駒内連合町内会	集 客 施 設 等	19	財団法人北海道体育文化協会
	2	藻岩地区町内会連合会		20	札幌市豊平川さけ科学館
	3	南沢地区町内会連合会		21	株式会社札幌振興公社
	4	石山地区町内会連合会		22	株式会社りんゆう観光
	5	芸術の森地区町内会連合会		23	財団法人札幌市芸術文化財団
	6	藤野地区町内会連合会		24	財団法人公園緑地管理財団
	7	定山溪連合町内会		25	関口雄揮記念美術館
	8	南沢地区まちづくり協議会		26	札幌市保養センター駒岡
	9	石山地区まちづくり協議会		27	札幌市藤野野外スポーツ交流施設
	10	定山溪地区まちづくり協議会		28	札幌市アイヌ文化交流センター
大 学	11	東海大学	29	社団法人定山溪観光協会	
	12	札幌市立大学	30	株式会社札幌リゾート開発公社	
商 店 街	13	石山商店街振興組合	31	株式会社じょうてつ	
	14	藻南商店街振興組合	集客交流イベント等 を実施する団体	32	八剣山発見隊
	15	藤野中央商工振興会		33	石切山街道まちづくりの会
金 融 機 関	16	北洋銀行	地域の交流イベント等 を実施する団体	34	むくどりホームふれあいの会
情 報 発 信 企 業	17	株式会社Ha-Naプランニング		35	社会福祉法人札幌この実会
	18	株式会社南区コミュニティエフエム	景観の美化・保全 に取り組む団体	36	芸術の森フラワーロードに花を咲かせる会
		37		花愛好会藤野	
		38		NPO法人森林遊びサポートセンター	

H20.6.3 現在

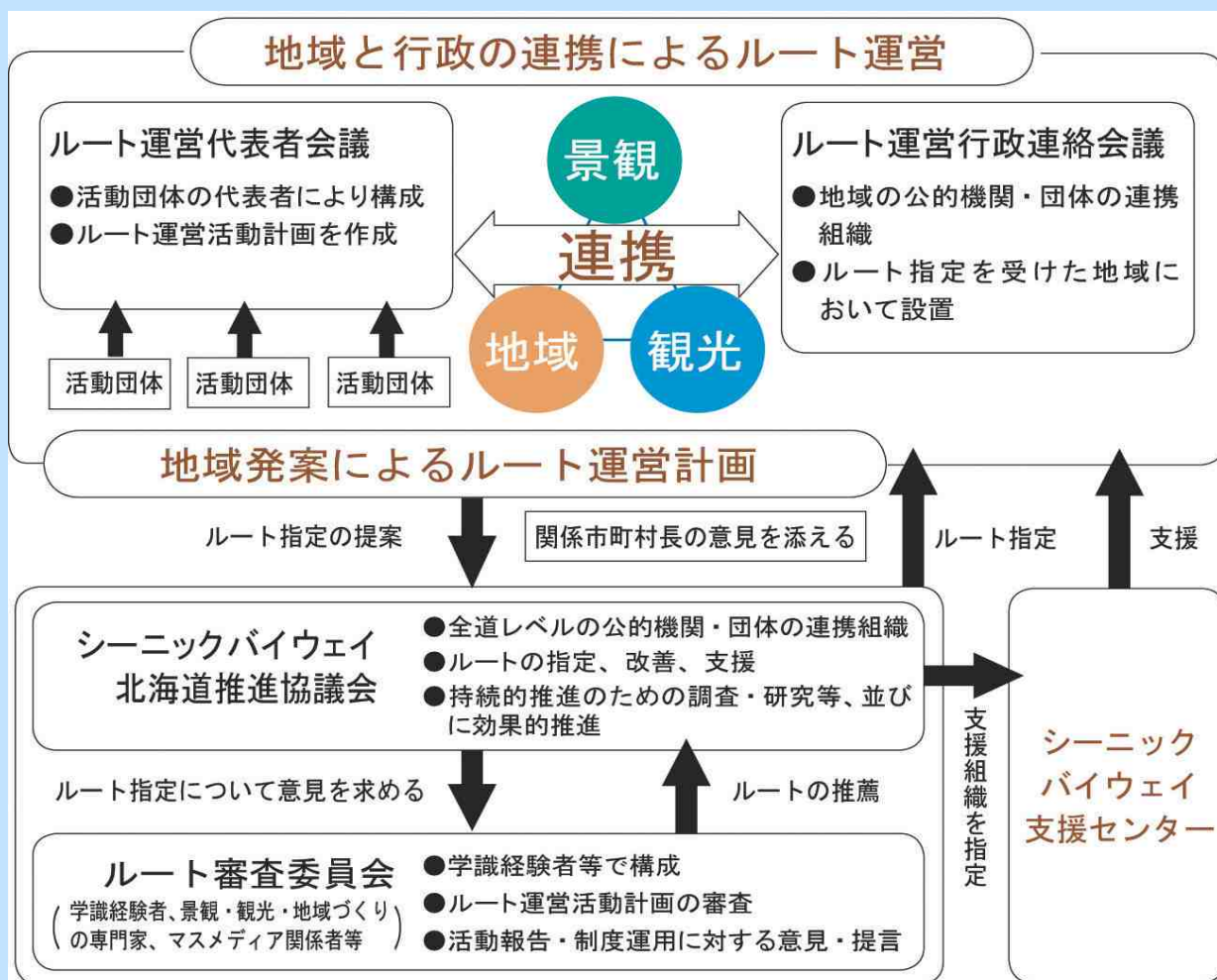
**計 38団体**

### 3. 「シーニックバイウェイ北海道」について

“みち”をきっかけとして、地域の方々が主役となって、行政や企業などと連携しながら、広域的に「美しい景観づくり」「活力ある地域づくり」「魅力ある観光空間づくり」に取り組み、愛着と誇りの持てる地域を実現する取り組みです。

#### 【制度概要】

シーニックバイウェイ北海道では、地域で組織されたルート運営代表者会議が、ルート運営活動計画を作成し、ルートの提案を行います。提案されたルートは、審査委員会の意見を踏まえて、シーニックバイウェイ北海道推進協議会がシーニックバイウェイルートとして指定します。

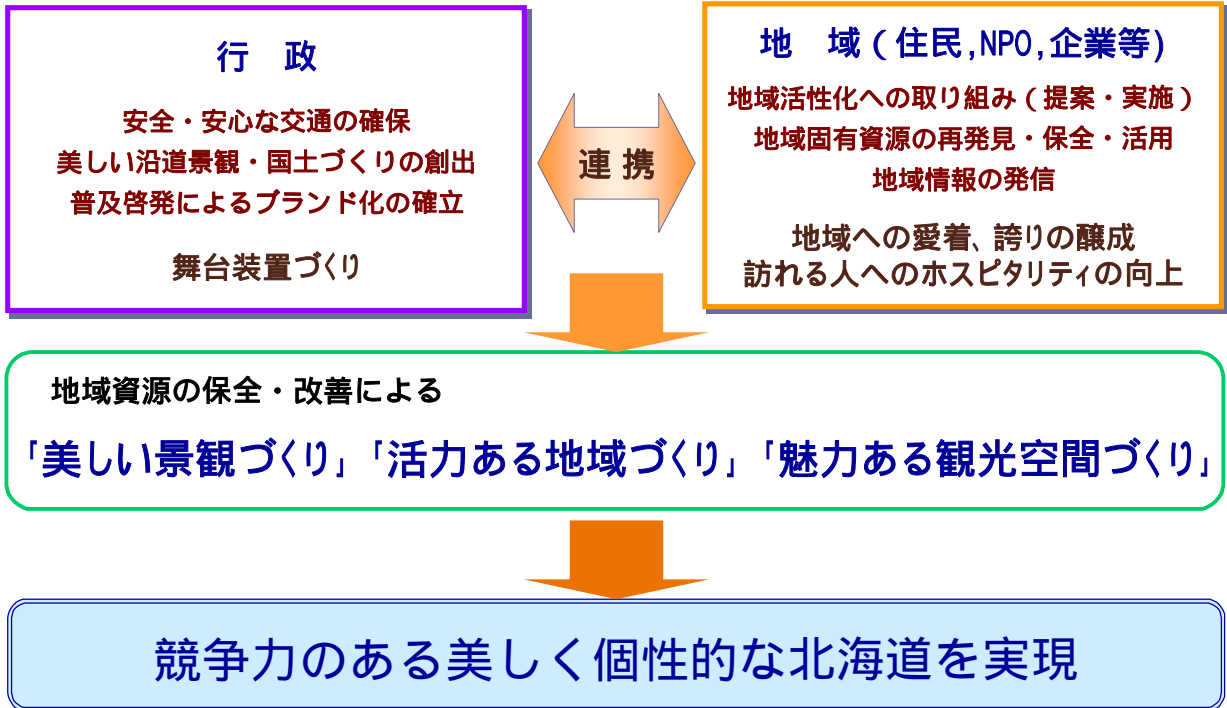


シーニックバイウェイルートでは、対象となる地域で組織されたルート運営代表者会議と行政が連携し、様々な活動が実施されます。

シーニックバイウェイ候補ルートには、ルート運営活動計画の熟度を高めるための取り組みへの協力、支援が行われます。

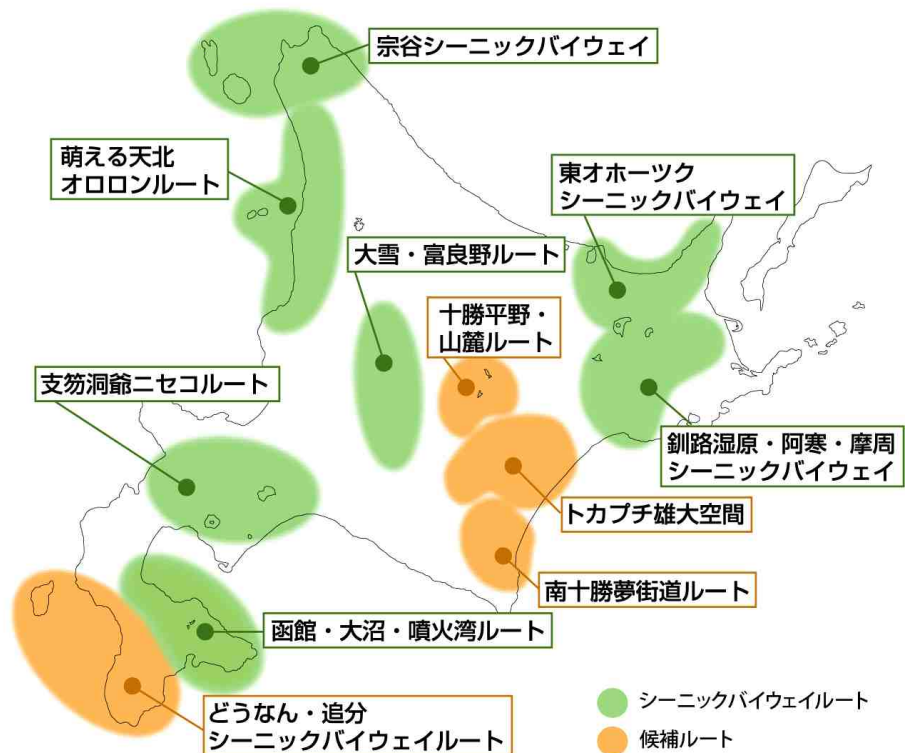
< 「シーニックバイウェイ北海道」推進の基本方針 >

< 意義 >	地域への愛着、誇りの醸成	地域ブランドの形成
	旅の快適性の向上、ストレスの少ないツーリング環境の形成	
< 目標 >	交流人口の拡大	地域産業の振興
		地域における雇用の拡大



シーニックバイウェイ [Scenic Byway] とは、景観・シーン [Scene] の形容詞 [Scenic] と、わき道・より道を意味するバイウェイ [Byway] を組み合わせた言葉です。活動の発祥は、アメリカです。

現在は、指定ルートが7つと、候補ルートが4つあります。  
(平成20年6月現在)



## 4 . 南区の概要



南区は、札幌市の南西部に位置し、小樽市・千歳市・恵庭市・伊達市・京極町・喜茂別町・赤井川村の4市2町1村と、中央区・豊平区・清田区・西区・手稲区の市内5区と接している。

南北に37.6km、東西に33.2kmの広がりを持ち、面積は657.23km<sup>2</sup>で全市域の約60%を占めている。

区域の大部分が支笏洞爺国立公園内にあり、札幌岳や余市岳など標高1,000mを越える高峰17座がそびえ立つなど、緑豊かな自然と人口15万人を抱える住宅街とが調和した街として発展を続けている。

### < 地域交通 >

道路	【国】一般国道230号、一般国道453号
	【北海道】道道1号小樽定山溪線、道道82号西野真駒内清田線、道道95号京極定山溪線、道道341号真駒内御料札幌線、道道814号滝野上野幌自転車道線
交通路線	【札幌市営地下鉄】南北線 - 澄川駅、自衛隊前駅、真駒内駅
	【バス】じょうてつバス、北海道中央バス、ばんけい観光バス



## 5 . これまでの検討経過

南区シーニックバイウェイ検討協議会では、平成19年9月から平成20年6月まで、7回にわたって検討会議を開催しています。

第2回、第3回の会議では、地域ごとのグループに分かれ、それぞれの地域の資源や、各団体の取り組みの洗い出しを行いました。

これらの区内の地域資源などを集約し、第4回から第6回の会議では、南区としての活動目標や取り組みの方向性を検討しました。

そして、第7回の会議では、これまでの検討結果をまとめた報告書の素案を全体で確認するとともに、南区におけるシーニックバイウェイの取り組みのPRについて意見交換を行いました。

第1回 協議会 平成19年 9月11日(火)	参加団体の紹介/制度の概要説明 検討協議会の設立にあたって ・今後の取り組み/調査及び検討事項/検討スケジュール 南区の魅力について(ミニ講演:北海道東海大学 吉村教授)
第2回 協議会 平成19年 10月25日(木)	グループ討議 ・地域の資源や取り組み、課題などについて ・地域のテーマについて
第3回 協議会 平成19年 12月17日(月)	地域資源調査の報告(北海道東海大学 吉村教授) グループ討議 ・積極的に活用・連携すべき地域資源や取り組みについて ・地域のテーマについて
第4回 協議会 平成20年 2月12日(火)	沿道景観調査等の中間報告(札幌市立大学 羽深教授) 全体討議 ・今後の検討スケジュールについて ・南区方針体系について
第5回 協議会 平成20年 3月27日(木)	全体討議 ・南区方針体系について ・今後の試行的な取り組みについて
第6回 協議会 平成20年 4月24日(木)	全体討議 ・南区方針体系について ・今後の試行的な取り組みについて
第7回 協議会 平成20年 6月3日(火)	全体討議 ・検討協議会報告書について ・ルート運営代表者会議の設立までの流れについて グループ討議 ・南区のシーニックバイウェイのPRについて

